



農業技術センターニュース

目 次				
ブルースターの新病害「疫病」の発生生態	… 1		ヒートポンプハイブリッド運転の加温特性	… 4
チャノホコリダニへの気門封鎖型殺虫剤の効果	… 2		ユズ弱毒優良系統の特性	… 5
省力・多収生産を目指した促成ニガウリ栽培	… 3		ピーマンの土壌病害虫複合抵抗性台木の育成	… 6

ブルースターの新病害「疫病」の発生生態



茎葉の黄化

地際部の褐変

株全体の萎凋

枯死

本県で栽培されているブルースターに発生した立枯性の障害は、*Phytophthora palmivora*という糸状菌による新しい病害であることが明らかとなり、病名を疫病としました。発病初期には下葉の黄化、株元の褐変がみられ、次第に上位葉へと広がっていきます。さらに症状が進むと落葉や、株全体が萎凋し、最終的には枯死してしまいます(写真上)。

本病は土壌伝染性が強く、病原菌は発病ほ場の地下30cmの土壌中からも検出されます。土壌中の水分を介して遊走子で移動し、感染を拡大させることから、ほ場への浸水や灌水時の水の跳ね上がりには注意することが必要です。また、発病には25℃以上の高温が適していることが明らかとなりました。現在、本病に効果的な土壌消毒法と、灌注薬剤の選定に取り組んでいます。

(病理担当 安達理恵 088-863-4915)